

教育研究活動デザインの会 参加のお誘い

細川 英雄

呼びかけの趣旨

大学教員生活を始めて、今年でちょうど30年になります。

この30年間、研究にとってのもっとも重要な問いである「テーマを発見する」ことの意味を研究と教育を結ぶ試みとして考えてきました。それは、職業としての研究の苦悩であり、また研究と教育のはざままで右往左往する自分の姿でもありました。最近よく思うことは、研究とは対話であるということです。なぜ研究は対話活動であるのかを考えてみると、それは、誰のための研究かという問題につながります。大学生のころから、好きなことしかしないという生き方を選んだ私が、なぜ研究を始めたのでしょうか。それは、自分にないものを求めることであると同時に、研究という職業の矛盾に悩みつつ、誰のための研究かと考えつづけてきた、研究者としての歴史でもあります。

このような経験の中で、私にとって最も重要な課題は、どうしたら研究と生活を結ぶことができるかということでした。研究という活動と毎日の生活を一体化させる作業は、楽しくもあり、しんどくもありというところですが、私の場合、この両者の接点に教育という課題がありました。

このような観点から、教育と研究の関係について、少人数でゆっくり考えてみたらどうだろうかという話が、東京図書の編集者である高山みのりさんとの間で持ち上がり、「教育研究活動デザインの会」を行うこととなりました。

研究という行為を自分の問題としてイメージを持ってない人、研究を職業にしたいと考えている人、研究と仕事の間で悩んでいる人、研究が停滞しつつある人、研究を社会にひらこうと考えている人たちに向けて、研究と教育という観点から見えてくる、研究と生活のさまざまな側面を一緒に考えてみたいと思います。

研究と教育という問題をめぐって関心をお持ちの方、さまざまな悩みを抱える方、お誘い合わせのうえ、どうぞご参加ください。

なお、場所の関係上、人数に制限があります。参加ご希望の方は、事前申し込みをお願いします。

- | | | | |
|----|-----|-----------|-------------------------------|
| 日程 | 第1回 | 11月04日(水) | 研究のイメージを持ってない人のために——研究と自分を結ぶ |
| | 第2回 | 11月25日(水) | 研究を職業としようとする人のために——研究と教育を結ぶ |
| | 第3回 | 12月16日(水) | 研究と仕事の間で悩んでいる人のために——生活と仕事を結ぶ |
| | 第4回 | 01月06日(水) | 研究が停滞しつつある人のために——研究と組織を結ぶ |
| | 第5回 | 01月27日(水) | 研究を社会にひらくために——個人と社会を結ぶ |
| | 第6回 | 02月17日(水) | これから研究を始めようとする人へ——新しい研究像をめざして |

時間 各回とも17:30~19:30

場所 東京図書株式会社 4F 会議室 (飯田橋駅徒歩3分。申し込み後、詳細をお送りします)

定員 10名 事前申し込みが必要

問合せ・申込先 東京図書編集部 高山 (mtakayama@tokyo-tosho.co.jp)